



第1回ぐんぐんウィークを終えて

家庭学習強化週間（ぐんぐんウィーク）では、ご協力、大変ありがとうございました。がんばりカードのふり返りやおうちの方からのコメントをご紹介します。これからのお子さんへの言葉かけや取組などの参考にいただければ幸いです。

おうちの方から お子さんの様子、効果のあった取組や言葉かけ



低学年

- ・時計の針を「長い針が0~0のところまで」と声かけをし、時間を意識させました。また、「あと何分だよ」と言って、あとどのくらいで終わるかを少し前に知らせることで、区切りをつけることができました。
- ・テレビの時間を減らすことで、学習や体力づくりの時間にあてることができ、がんばっていました。
- ・めあてに書いたことを自分から「テレビは1時間だよ」と聞いてきて、約束を守ろうとしていました。

中学年

- ・学習意欲が少しでも高まるように、「ほめる言葉」に気を配り、親も一緒に学ぶことにしました。
- ・「勉強が終わったら〇〇しているよ。」と声をかけたら、先に勉強を始めました。
- ・テレビの時間を少なくしたので、親と一緒に遊ぶ時間が多くて楽しかったです。
- ・自学をやることにやる気が出てきた気がします。おかげで、ゲームやテレビの時間がかなり減りました。

高学年

- ・自分なりに考えてよくやっていました。
- ・勉強以外に新聞を読んだり本を読んだりすることに集中していました。
- ・自分で決めてしっかりできました。
- ・学習以外でも、家のお手伝い（妹の世話、料理など）もしっかりできて、助かりました。

※全国学力・学習状況調査のこれまでの結果分析からも、保護者の適切な働きかけは、子供に自信や意欲をもたせるなどの効果があることが分かっています。

子供のよさをほめ、自信をもたせていますか？



これまでの調査結果から、家の人は、ほめてもらいたいことをほめてくれると思っている子供ほど、自分にはよいところがあると感じている傾向にあることが分かってきました。



ほめる際は、結果だけを見るのではなく、努力の過程を認めるなど、自信をもたせるようにしましょう。その際は、子供がどのようなことをほめてもらいたいのかを考えることも大切です。